

## 2010年1月1日～2020年12月31日の間に 当科において心臓大血管手術の治療を受けられた方へ

「心臓大血管術後の胸骨縦隔炎に対する創処置法の工夫」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学心臓血管外科学 講師 山澤隆彦  
研究分担者 川崎医科大学心臓血管外科学 教授 種本和雄  
川崎医科大学心臓血管外科学 特任教授 金岡祐司  
川崎医科大学心臓血管外科学 准教授 田淵篤  
川崎医科大学心臓血管外科学 講師 柚木靖弘  
川崎医科大学生理学1 特任講師 渡部芳子  
川崎医科大学心臓血管外科学 講師 赤木大輔  
川崎医科大学附属病院心臓血管外科学 兼務レジデント 栗田憲明  
川崎医科大学心臓血管外科学 臨床助教 田村太志  
川崎医科大学心臓血管外科学 臨床助教 山根尚貴

### 1. 研究の概要

胸骨正中切開を行う心臓大血管術後の深部胸骨創感染の発生率は0.25-5%と報告されていますが、ひとたび深部胸骨創感染を発症するとその死亡率は20-45%と高いものです。当院では深部胸骨創感染の予防として、皮下の結節縫合などを行ってきました。2016年からは胸骨前軟部組織の洗浄を行っています。当院における心臓大血管手術後創部感染の発生率および有効性を検討します。

### 2. 研究の方法

#### 1) 研究対象者

2010年1月1日～2020年12月31日の間に川崎医科大学附属病院心臓血管外科において心臓大血管手術の治療を受けられた方1200名を研究対象とします。

#### 2) 研究期間

倫理委員会承認日～2025年4月1日

#### 3) 研究方法

2010年1月1日から2020年12月31日までの間に当院で胸骨縦切開を行った心臓大血管手術を対象とした。このうち深部胸骨創感染を認めた症例を抽出し、術前データおよびDSWI処置方法、結果と成績について調べます。

#### 4) 使用する情報の種類

診療録より年齢、性別、家族歴、病歴、治療歴、副作用等の発生状況、身長、体重、BSA、合併症、採血、レントゲン、CT検査、呼吸機能検査、心エコー図所見、冠動脈造影検査等の心機能、リスク

スコアとして Japan score,ユーロスコア、STS スコア、術中所見として手術記録、麻酔記録、人工心肺記録等を使用する予定である。術後も身長、体重、BSA,合併症、採血、レントゲン、使用した抗生剤の種類と期間、CT 検査、呼吸機能検査、心エコー図所見、冠動脈造影検査等の検査結果および生存率、合併症を検討する予定です。

#### 5) 外部への情報の提供

外部への情報提供はありません。

#### 6) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学心臓血管外科教室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。

#### 7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等(父母(親権者)、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人)を交えてお知らせすることもできます。内容についてわかりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、(2021年12月1日までの間に)下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

#### < 問い合わせ・連絡先 >

川崎医科大学附属病院 心臓血管外科

氏名:山澤隆彦

電話:086-462-1111 内線 44378(平日:9時00分~17時00分)

ファックス:086-464-1189

#### < 研究組織 >

当院のみの単施設研究です

#### 3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。